

広島都心地域都市再生安全確保計画【概要】

はじめに

- 東日本大震災における帰宅困難者の混乱から、多数の滞留者が存在する都市再生緊急整備地域においては、官民の十分な連携の下、大規模地震発生時の滞在者等の安全確保が必要として、平成24年に都市再生特別措置法の改正により、都市再生安全確保計画制度が創設されました。
- 本市では、広島駅周辺地区、紙屋町・八丁堀地区を統合した「広島都心地域」が都市再生緊急整備地域に、その一部は特定都市再生緊急整備地域に指定されており、今後、再開発や建替えの進展による滞留者の増加が見込まれることから、滞留者の安全確保の必要性が一層高まっています。
- これらを踏まえ、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の両地区における、大規模地震発生時の滞留者の安全確保を図るため、「都市再生安全確保計画」を策定します。

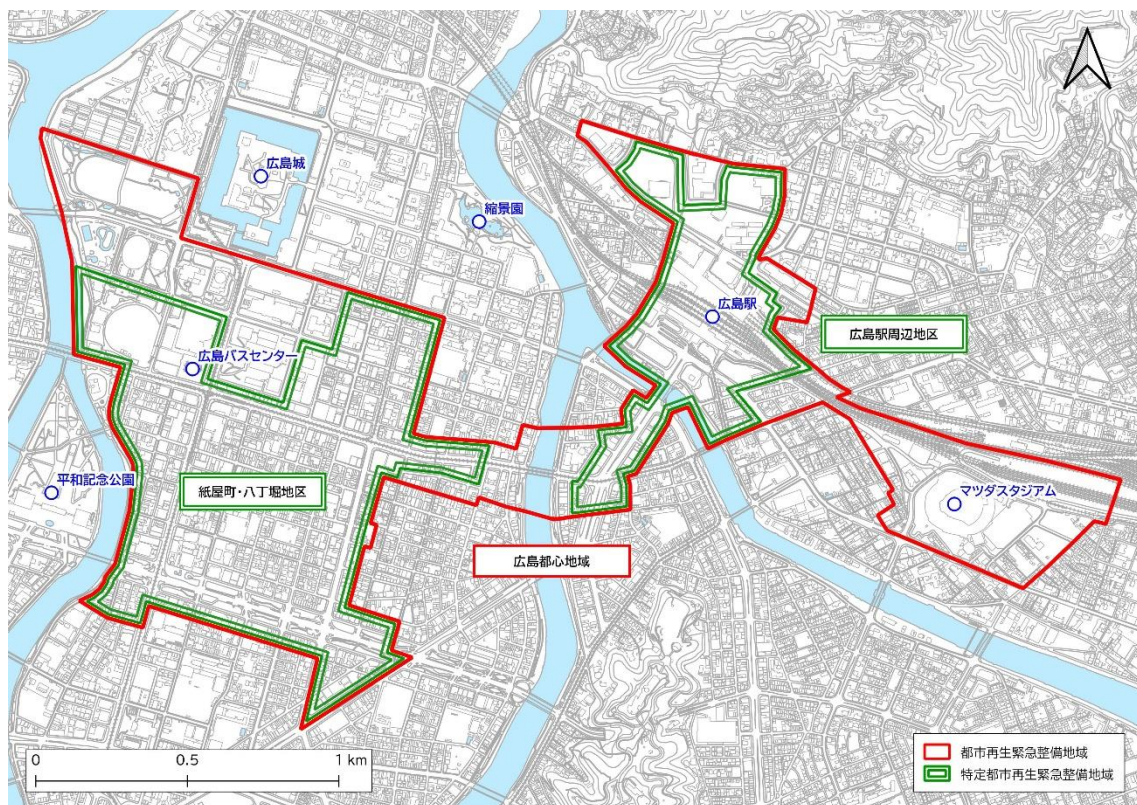
1 都市再生安全確保計画について

計画策定の意義

- 本市では、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置づけ、都市機能の集積・強化を図ることにより、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めています。
- こうした中で、両地区とも、多くの従業者や来訪者が存在することから、大規模地震等が発生した場合は、公共交通機関の停止により多くの帰宅困難者が発生することが想定されます。
- このため、発災時の混乱を抑制し、帰宅困難者を適切に保護・支援するため、行政機関や民間事業者等の連携・協力による災害対策をとりまとめた「都市再生安全確保計画」を策定し、災害に強い、安全・安心な都市環境の形成を図るものです。

計画の対象区域

- 特定都市再生緊急整備地域である「広島駅周辺地区」及び「紙屋町・八丁堀地区」を中心とした、都市再生緊急整備地域（広島都心地域）全体を対象とします。



2 地区の現状と被害想定

地区の現状

人口・交通	<ul style="list-style-type: none"> 居住者の人口密度が低く、従業者の人口密度が高い。 滞留者数は日中に多く、正午から夕方にかけて多くの人が流入している。 JR広島駅の他に、路面電車やアストラムラインの駅が複数立地している。
建物	<ul style="list-style-type: none"> 商店街や大型商業施設等の商業機能に加え、企業の本社・支社、官公庁施設等の業務機能等が集積している。 建築基準法における耐震基準が改正された昭和56年以前に建築された建物が4割以上を占め、更新時期を迎える建物も多い。
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> 縁辺部にはまとまった面積の公園が整備されているが、交通結節点周辺等にはオープンスペースが十分に整備されていない。 多くの人が集まる大規模施設が広く分布しており、今後も大規模な都市開発等が計画されている。
防災関連施設	<ul style="list-style-type: none"> 指定緊急避難場所が2箇所、帰宅困難者一時滞在施設が27施設指定されている。
エリアマネジメント等	<ul style="list-style-type: none"> 複数のエリアマネジメント団体等があり、まちづくりに取り組んでいる。
事業者の防災対応（アンケート結果）	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画を策定済みまたは策定予定の事業者が多い。 一斉帰宅への取組を行っている事業者は十分多くない。 多くの事業者で備蓄をしているが、来訪者向けの備蓄は少ない。

被害想定

被害想定

- 本市に及ぼす被害が甚大となるおそれが高い「南海トラフ大地震」、「安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震」を想定します。

帰宅困難者数の推計

- ピーク時に広島駅周辺地区では約5.8万人、紙屋町・八丁堀地区では約9.7万人の滞留者が見込まれます。
- そのうち、帰宅困難者は、広島駅周辺地区で約1.2万人、紙屋町・八丁堀地区で約1.4万人と見込まれます。

一時退避場所、帰宅困難者一時滞在施設の状況

- 【一時退避場所】
- 広島駅周辺地区は一時退避者約3.3万人に対し、受入可能数が約3.5万人ですが、広島駅から離れており、混乱が生じるおそれがあります。
 - 紙屋町・八丁堀地区は、一時退避者約4.9万人に対し、受入可能数が約0.3万人と大きく不足しています。

【帰宅困難者一時滞在施設】

- 受入可能数は、広島駅周辺地区が約3千4百人、紙屋町・八丁堀地区が約3千5百人と大きく不足しています。

地震発生

- 交通機関の運行が停止
- 屋外に出る人が、周辺の歩道等に滞留

屋外退避者の発生

- 来訪者や従業者等が安全確認のため屋外へ退避
- 広島駅周辺地区：約5.3万人
- 紙屋町・八丁堀地区：約8.7万人

一時退避者の発生

- 建物の安全確認できない従業者や行き場のない来訪者が一時退避場所へ移動
- 広島駅周辺地区：約3.3万人
- 紙屋町・八丁堀地区：約4.9万人

帰宅困難者の発生

- 徒歩による帰宅が困難な人が帰宅困難者一時滞在施設へ移動
- 広島駅周辺地区：約1.2万人
- 紙屋町・八丁堀地区：約1.4万人

3 課題と取組方針

課題整理

➤ 地区における災害発生時の課題として、以下の点が挙げられます。

- ① 滞在者・来訪者の一斉帰宅による多数の帰宅困難者等の発生
- ② 帰宅困難者等の受入場所の不足
- ③ 災害情報等の連絡・共有体制の不足
- ④ 建物倒壊等の危険性

取組方針

地区の将来像

都市機能を支え、その価値を高める みんなで災害に備えるまち

➤ 都市整備を進め、国内外から選ばれる地区となるためには、都市機能を支え、地区の付加価値を高める防災機能が必要です。このため、地区に関わる全ての主体が一体となり、災害時にあっても来訪者等の安全が確保され、都市機能が維持されるような、災害への備えがあるまちを目指します。

目標と取組方針

➤ 目標と取組方針は、以下の通りとします。

目標	取組方針
① 帰宅困難者等の発生抑制	一斉帰宅の抑制、建物の耐震化
② 帰宅困難者等の安全確保	避難誘導等の円滑化、退避施設等の確保、備蓄品の確保、徒歩帰宅者の支援
③ 災害に関する情報の共有	情報伝達の仕組みづくり、情報提供ツールの整備
④ 帰宅困難者支援体制の整備	帰宅困難者支援を統括する体制づくり、各事業者の防災に関する取組の充実・強化
⑤ 平常時における備えの充実	防災に関する啓発活動の実施、防災に関する訓練の実施

4 目標を達成するための具体的な取組

都市再生安全確保施設の整備及び管理等

➤ 大規模な地震が発生した場合に滞在者・来訪者の安全を確保するために必要な施設（都市再生安全確保施設）について、P4に示す整備済み及び整備予定の施設を定めます。

滞在者等の安全を確保するために実施する事業

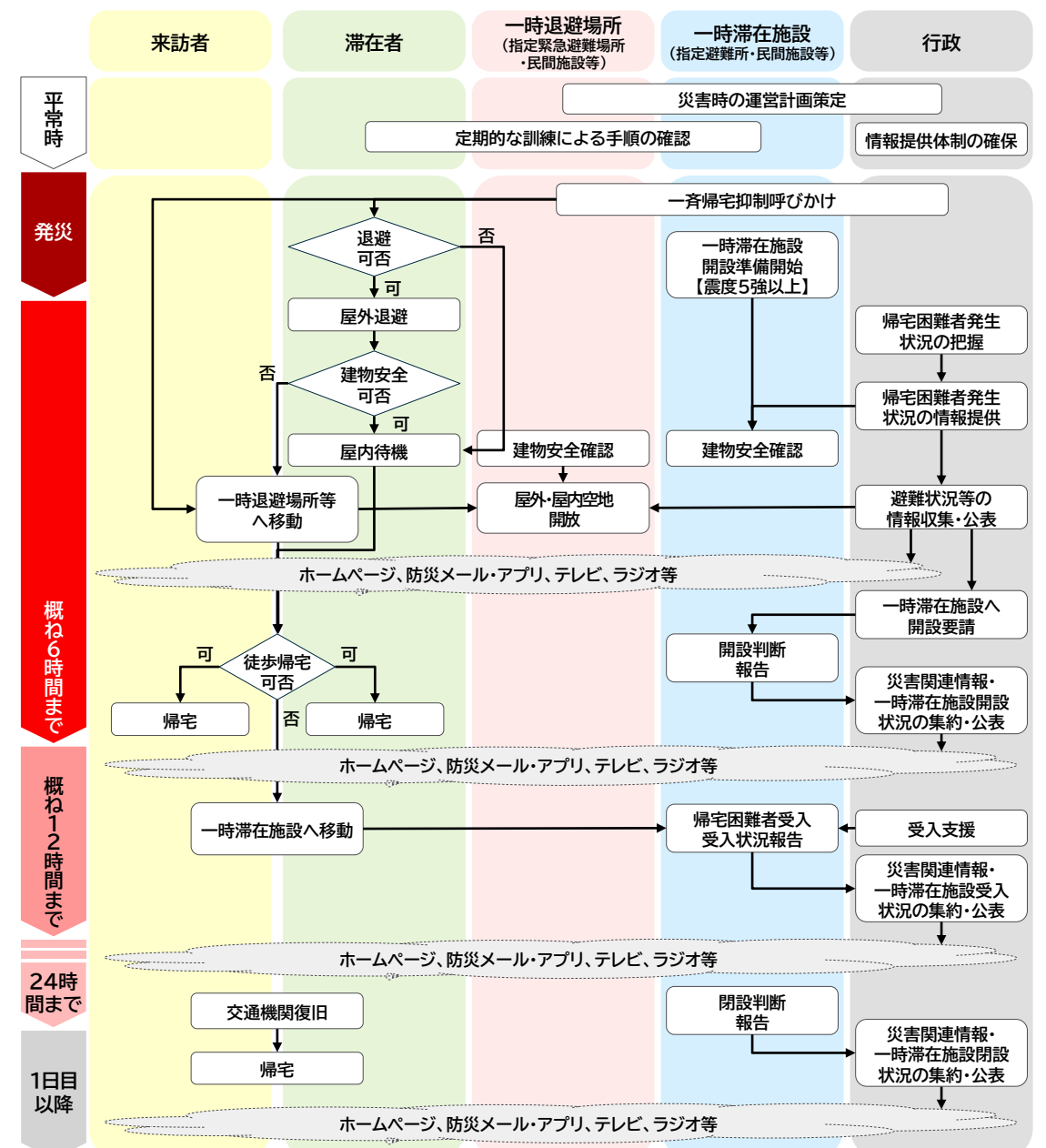
➤ 都市再生安全確保施設が災害時に十分機能するための環境整備や地域の滞在者等の安全の確保を図るために必要な事業等については、施設所有者等と実施に向けた協議が整った時点で計画に記載します。

滞在者等の安全の確保を図るために必要な事務及び事項

基本的な考え方

- 発災後、滞在者・来訪者は屋外の歩道等の屋外退避スペースへ避難します。ただし、滞在者のうち十分な耐震性能を有している建物に滞在する場合は、屋内待機します。
- 発災から6時間程度までの間、建物の安全が確認された滞在者は、屋内待機します。建物の安全が確認できない滞在者は、一時退避場所へ避難します。
- 発災後6時間から12時間程度までの間、徒歩帰宅者は、災害時帰宅支援ステーションを活用し、帰宅します。帰宅困難者は、開設された帰宅困難者一時滞在施設へ避難します。
- 発災後12時間から24時間までの間、帰宅困難者は、帰宅困難者一時滞在施設に退避し、公共交通の復旧・代替移動手段の運行等に合わせ、帰宅します。

※ 避難者は、余震や津波等の情報に注意し、避難行動中に目前急迫の浸水危険にさらされた場合には、付近の浸水時緊急退避施設や堅固な建築物の上階へ退避します。



平常時に実施する備え

➤ 滞在者等の安全の確保を図るための平常時において実施する備えは以下の通りです。

取組内容	施設等 管理者	事業者	行政	実施 期間
開発や建替えに伴う安全性の高い退避経路の整備		○	○	中・長期
退避経路における看板等の落下防止		○		短期
開発や建替えに伴う一時退避場所の整備		○	○	中・長期
既存施設における活用可能スペースの提供		○	○	短期
公園・公開空地等のオープンスペースの活用		○	○	短期
開発や建替えに伴う帰宅困難者一時滞在施設の確保		○	○	中・長期
既存施設における受入スペースの提供	○	○	○	短期
一時退避場所や帰宅困難者一時滞在施設の維持・管理	○			短期
既存施設における備蓄スペースの確保	○	○		短期
備蓄品の確保	○	○	○	短期
災害時帰宅支援ステーションの拡充		○	○	短期
避難誘導に関する地区内の統一ルールづくり		○	○	短期
避難誘導マニュアル・マップ等の作成		○	○	短期
都市再生安全確保施設運営の共通ガイドラインの作成	○		○	短期
施設ごとの運用マニュアルの作成	○			短期
情報伝達ルール等の検討	○	○	○	短期
情報伝達ルール等の共有	○	○	○	短期
デジタルサイネージ等の情報発信設備の整備・活用		○	○	短期
滞留者に対する情報入手方法の周知		○	○	短期
Wi-Fiアクセスポイントの設置		○	○	短期
情報提供ツール等の多言語化等の推進		○	○	短期
情報伝達手段の確保	○	○	○	短期
防災訓練等と連携した帰宅困難者対応訓練の検討	○	○	○	短期
帰宅困難者対応訓練の実施	○	○	○	短期
対応訓練を踏まえたガイドライン等の検証	○	○	○	短期
ポスターの作成等による一斉帰宅抑制の啓発			○	短期
従業者等への事業所内待機の啓発		○		短期
帰宅困難者対策についての啓発		○	○	短期
滞留者への防災についての啓発		○	○	短期
耐震改修促進計画に基づく耐震化の促進		○	○	短期
家具・什器類の固定による安全確保		○		短期
自主防災計画、計画に基づく自主防災訓練等の実施		○		短期
非常用電源設備の確保		○		中・長期
事業継続計画（BCP）等の作成		○		中・長期

発災時に実施する事務

➤ 滞在者等の安全の確保を図るために発災時に実施する事務は以下の通りです。

取組内容	施設等 管理者	事業者	行政	実施 期間
建物の安全性についての周知・伝達		○		短期
滞在者・来訪者に対する帰宅抑制の周知		○	○	短期
防災アプリ等を活用した情報提供			○	短期
避難誘導や避難路における交通整理の実施		○		短期
都市再生安全確保施設等の開設・運営	○			短期
徒歩帰宅者を支援する情報提供の推進		○	○	短期

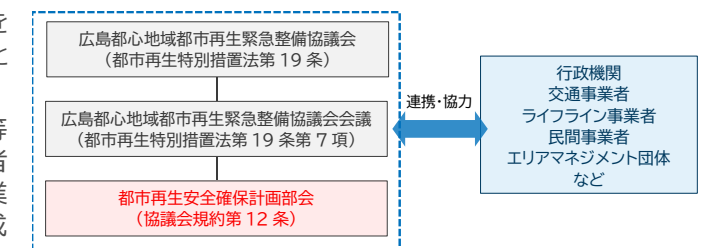
その他防災性の向上のために必要な事項

- 今後も地域整備方針に沿って、オープンスペースの確保等による防災機能の強化や建築物の不燃化、耐震化等により、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進します。
- また、関係者の連携による災害対応力の強化により、地区全体の安全性や信頼性を確保し、国内外から更に多くの人や企業を惹きつけ、新たな交流とにぎわいを生み出す都市づくりを目指します。

5 計画の実現に向けて

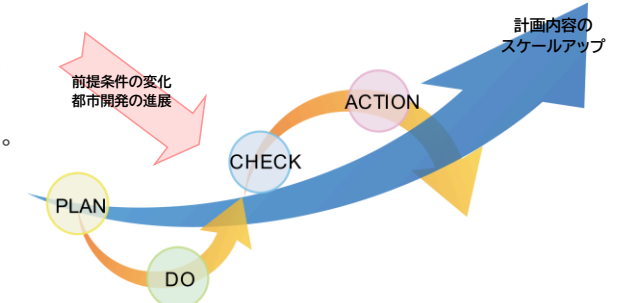
計画の推進体制

- 「都市再生安全確保計画部会」を継続的に開催し、同部会が主体となって計画を推進します。
- 協議会及び部会は、国、県・市等の行政関係者に加え、交通事業者やライフライン事業者、宿泊・商業等の大規模施設管理者等が構成員として参加しており、官民一体での取組を進めます。

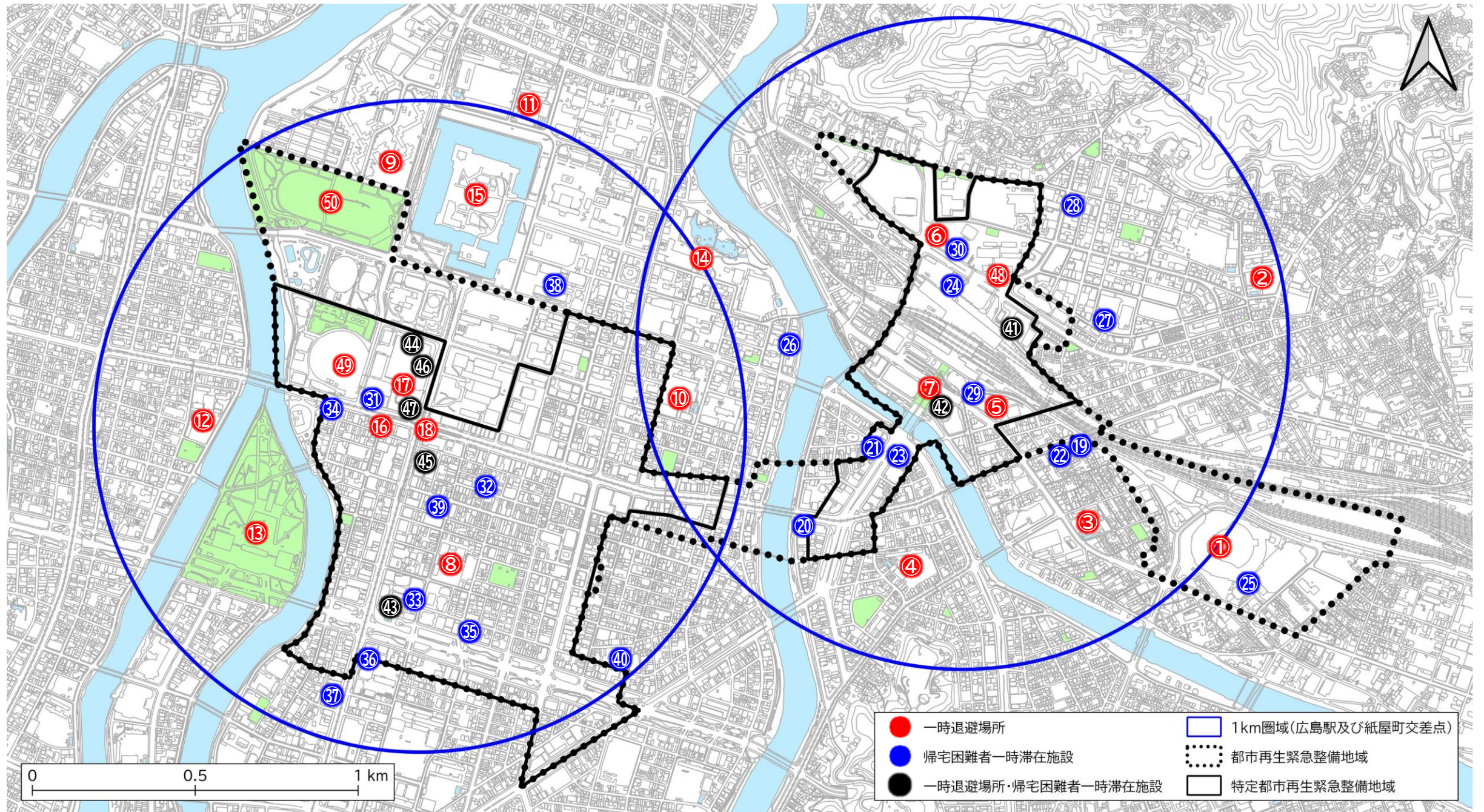


計画の見直し・変更

- 計画の実行性を高めるため、中・長期的な取組についても官民連携で検討を進め、P D C Aサイクルによる内容の改善・更新により、計画内容のスケールアップを図ります。
- 前提条件の変化や都市開発の進展等、記載されている事業内容の変更が必要となった場合には、計画の変更を行います。
- 津波発生時の一時退避場所や帰宅困難者一時滞在施設の不足、新型コロナウイルス感染症対策といった継続的な課題について、引き続き、対策を検討します。
- 浸水被害に対する滞在者・来訪者の安全確保が求められており、計画に記載の内容をベースとしながら、浸水被害発生時の対応策についても検討していきます。



都市再生安全確保施設



● 一時退避場所	 1km圏域(広島駅及び紙屋町交差点)
● 帰宅困難者一時滞在施設	 都市再生緊急整備地域
 一時退避場所・帰宅困難者一時滞在施設	 特定都市再生緊急整備地域

〈一時退避場所〉

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| ①マツダスタジアム
(広島市民球場) | ⑦広島駅南口地下広場 | ⑭縮景園 |
| ②尾長小学校 | ⑧袋町小学校 | ⑮広島城跡 |
| ③荒神町小学校 | ⑨基町小学校 | ⑯エディオン広島本店 |
| ④段原小学校 | ⑩幟町小学校 | ⑰そごう広島店 |
| ⑤エキシティ広島 | ⑪白島小学校 | ⑱紙屋町シャレオ |
| ⑥GRANODE広島 | ⑫本川小学校 | |
| | ⑬平和記念公園 | |

〈一時退避場所(整備予定)〉

- | | |
|------------------|--------------------|
| ⑬(仮称)JR西日本広島支社跡地 | ⑳中央公園広場(サッカースタジアム) |
| ⑭旧広島市民球場跡地 | |

〈帰宅困難者一時滞在施設〉

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ⑰広島インテリジェントホテル本館 | ⑳広テレビル |
| ⑱広島インテリジェントホテルアネックス | ㉑メルパーク広島 |
| ⑲広島グランドインテリジェントホテル | ㉒ひろしま国際ホテル |
| ⑳広島オフィスセンター | ㉓ホテル法華クラブ広島 |
| ㉑ホテルセンチュリー21広島 | ㉔広島市の宿 相生 |
| ㉒ホテルグランヴィア広島 | ㉕三井ガーデンホテル広島 |
| ㉓ルネサンス広島ボールパークタウン | ㉖ホテルエスブル広島平和公園 |
| ㉔ザ ロイヤルパークホテル 広島リバーサイド | ㉗コンフォートホテル広島大手町 |
| ㉕ホテル広島ガーデンパレス | ㉘広島合同庁舎1号館附属棟 |
| ㉖広島教育会館ホテルチュリッヒ東方2001 | ㉙広島アンデルセン |
| ㉗ゼクシス広島(エキシティ・ウエスト) | ㉚国際PARK |

〈一時退避場所・帰宅困難者一時滞在施設〉

- | |
|--------------------|
| ④①シエラトングランドホテル広島 |
| ④②BIG FRONT ひろしま |
| ④③ANAクラウンプラザホテル広島 |
| ④④リーガロイヤルホテル広島 |
| ④⑤ひろぎんホールディングス本社ビル |
| ④⑥基町クレド・パセーラ |
| ④⑦広島バスセンター |